ぱっそ ぁ ぱっそ

水戸ファミサポだより

***passo a passo*(イタリア語で一歩一歩の意味)未来に向かって**

発行：水戸ファミリー・サポート・センター

〒310-4143　水戸市大塚町 1863-169　　Tel　029-303-7277　Fax　029-303-7288

http://www.famisupo-mito.com　　e-mail: mito-fami@sjc.ne.jp

令和５年８月1日発行

日頃よりファミリー・サポート・センターの活動に御協力いただきありがとうございます。令和５年４月にアドバイザーが一新しました。不慣れな私達ですが、会員の皆様の御協力、御支援をいただきながら行っていきたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

☆☆令和５年度第１回（6 月 22 日）・第２回（6 月 29 日）会員講習会を開催しました☆☆

2023 年度　第１回会員講習会

6 月 22 日はあいにくの雨模様でしたが、多くの会員の皆様に御参加いただきました。

午前は、水戸地区救急普及協会の講師の方々による「救命講習」を行いました。

―万が一、あなたの目の前で人が倒れたら、あなたはまずなにをしますか？―

緊急の事態に遭遇した場合の「万が一」に備えて、自分の大切な家族、友人、そして隣人の命を守るための具体的な方法を教えていただきました。応急手当の正しい知識と技術を身につけるために、乳幼児・小児・成人に対する心肺蘇生法と AED の取り扱い方などを実技で学びました。

会員の感想：
実際に触れて体験できたことで、使い方が分かりよかった。
AEDの取扱いが理解できたのでよかった。

午後からは、水戸市防災・危機管理課の方々による「子育て支援と災害に備えたリスクマネジメント」の講習を行いました。

―皆様は、東日本大震災の時にどのような行動をしましたか?―

いつ、どこで、発生するかわからない災害について、何を今から備えておくのが良いのかを学びました。

地震が発生したらまずはどうするか、どこに避難したらいいのか、災害に備えて非常食や飲料水はどのくらい必要なのかなどについて、現物で確認をしました。そして、送迎サポート中に災害にあったら車をどうするのがよいか等、具体的な方法を教えていただきました。

会員の感想：
災害時の避難場所や、行動について理解ができた。運転中地震がおきて運転できない際、ハンドルを左に切っておくことやカギを抜かずに外に出ることなど知ることができた。とてもためになった。

最後に、協力会員の皆さんと意見交換会「円滑なサポートをするために」を行いました。
協力会員として、『サポート中に気を付けていることや実行している工夫など』を発表してもらいました。
そして、よりよくサポートをするためにはどうすればよいか、安全・安心にサポートをするのにはどうすればよいか等意見交換を行いました。
協力会員の皆様がサポートについて、責任と気遣いをもって行っておられることがうかがわれ感謝の思いでした。

2023年度　第2回講習会

6月29日晴れ間がのぞくお天気でした。多くの協力会員に御参加いただきました。
午前中は、県特別支援教育課の舘美穂子先生による「発達障害の正しいい理解のために」が行われました。
―「ちがい」を認め「良さ」に気付けるようになることを目指して―

障害の種類や特徴を教えていただき、障害に早く気付くポイントや障害の人に接するときの配慮、適切な支援を学びました。

会員の感想：
発達障害の子どもについて理解できて良かった。同じ障害名でも一人ひとり違いがあり、実際に対応することは大変な時もあります。よく理解するためにもこの講話は毎年あると良いと思います。

午後からは、常磐短期大学非常勤講師　笹川まゆみ先生による「小児看護の基礎知識」が行われました。

子どもの病気の特徴や、症状の観察方法・対処方法を丁寧に教えていただきました。サポートをするうえで大切な知識を学びました。
最後に三角巾で包帯を作る方法なども学びました。

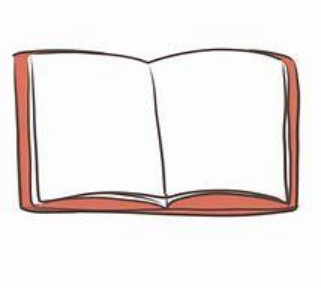
会員の感想：
身近に起きる出来事でしたが、昔と処置の仕方が違ったので大変参考になりました。

最後にセルフエスティーム普及協会認定トレーナー　林望美先生による「保育の心について」が行われました。
―笑顔は最高の自己肯定感をはぐくむ働きかけ―

私たち自身の自己肯定感を高めるには、「自分を認める」「自分を受け入れる」「自分を大切にする」ということが基本。そのうえで、子どもの心に寄りそう声掛けや行動をすることが大事であることを学びました

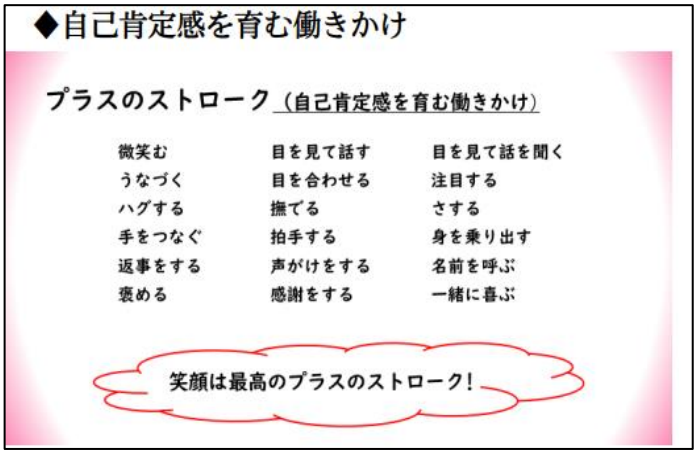
会員の感想：
笑顔で接することが一番であることが分かりました。
自分を大切に今後生きていきたいと思います。

《講演会の資料のご紹介》



発達障害の正しい理解のために」の講座の中で　本の朗読がありました。
「算数の天才なのに計算ができない男の子のはなし」
文：ﾊﾞｰﾊﾞﾗ･ｴｼｬﾑ　　絵：ﾏｲｸ&ｶｰﾙ･ｺﾞｰﾄﾞﾝ
とても考えさせられる本でした。機会がありましたら是非、お読みください。

「小児看護の基礎知識」より
テレビのニュース番組でよく救急車を簡単に呼びすぎるとか落ち着いてから要請するとかいいますが、右の絵の症状があったら手遅れにならないようにためらわず電話をしましょう



「保育の心について」より
利用会員のお子様にも、そしてご自身のご家族にも
プラスのストロークを意識して接することが大切です。

★★★ご紹介ください。協力会員大募集中★★★

水戸ファミリー・サポート・センターでは、現在協力会員大募集中です。お知り合いで子育て支援に興味を持っている方いませんか？

※保育園や学校への送迎を含むお預かりや習い事への送迎。

※保護者の仕事、病気、冠婚葬祭や他の子供の学校行事のお預かりなど

R5年度地区別会員数　　資料１　　R5.7現在

	利用会員数	両方会員数	協力会員数	協力者の%
一中地区	61	3	10	20%
二中地区	131	13	20	23%
三中地区	109	7	15	19%
四中地区	163	6	23	17%
五中地区	49	3	9	23%
千波中地区	96	7	12	18%
千波地区	31	1	6	22%
笠原中地区	93	7	15	22%
見川中地区	113	4	11	13%
赤塚中地区	55	4	7	19%
双葉台中地区	27	3	13	53%
石川中地区	40	2	8	24%
内原中地区	34	0	9	26%
常澄中地区	10	1	3	36%

この表は、中学校学区別の利用会員と協力会員の比率をあらわした表です。
残念ながら利用会員に対しての協力会員が不足していることが見てとれます。中でも見川中地区は、利用会員 113 人に対し、両方・協力会員合わせて 15 人しかいません。私たちもチラシを配ったりしているのですが、なかなか難しいのが、現状です。
皆様のお力添えが必要です。お近くの方でご興味のある方に是非ともお声掛けをお願い致します。

センターよりお願いごとです　（一部会則抜粋）

※利用会員様にお願い※

・普段からお子様に交通ルールや他所でのマナーを教えておきましょう。
　（お子様は、普段からシートベルトをきちんと着用していますか）
・依頼した援助内容以外の援助はできません。変更がある場合はセンターにご相談ください。
　（センターにご連絡がない場合の援助活動は補償保険対象外です。ご注意ください。）
・約束した時間は必ず守りましょう。『開始・終了時間』が遅れる場合は必ず協力会員へ連絡しましょう。
　（協力会員の方にも都合があります。お互いに気配りをしましょう。）
・人と人とのつながりを基本とした活動であるので礼儀や感謝の心をお互いに忘れず、言葉としても伝えましょう。
・安全上の事で注意されたことは、お子様に守るようお伝えください。

＊協力会員様にお願い＊

・安全チェックリストを活用し、常にお子様の安全を確認しましょう。
　（援助活動報告書と一緒に安全チェックリストのご提出をお願いいたします。）
・活動の際は、協力会員証を携帯してください。
　（特に送迎時の時にお願いいたします）
・センターで開催する講習会などへの参加は会則で定められております。
　（半日でも大丈夫です。お子様をサポートする"命を預かる"うえで重要なことです）

サポート中に知り得たお互いの住所、氏名、電話番号、家庭の事情などの個人情報やプライバシーは、第三者に漏らさないようにお願い致します。

編集後記

皆さんの橋渡し役となり末永くお付き合いできるよう全力で頑張ります!!　　市毛

次世代を担う子どもたちの為に、みんな一生懸命なんだなあと実感しています。よろしくお願いします。　伏見

早 4 か月が過ぎました。あっという間に過ぎてしまった気がします。「一期一会」素敵な出会いが続きますように…
草野